

## ■ 景観形成基準チェックシート(重点地域・全地区)

(対象：都市計画法第4条第12項に規定する開発行為、土地の開墾、土地の形質の変更、水面の埋立て又は干拓)

※周辺との調和への配慮がわかる図書を添付すること。

届出者の氏名						
行為の場所						
周辺景観の特性						
地域の景観形成の方向 (市町村景観形成方針等の有無)						
※項目	※規制の 視点	※景観形成基準	※配慮事項	具体的な配慮又は工夫の内容	※適否	※意見
形状及 び緑 化	圧迫感・威 圧感	できる限り現況の地形を生かし、 長大なり面及び擁壁が生じない よう努めること。	長大なり面、擁壁が生じないよ う配慮しているか。	□のり面、擁壁の高さ： m □のり面、擁壁の長さ： m	適・否	
			圧迫感、威圧感の軽減に配慮して いるか。		適・否	
	緑化	のり面は、できる限り緑化が可能 なこう配とし、周辺の植生と調和 した緑化に努めること。	緑化可能なこう配となるよう配慮 しているか。		適・否	
			周囲の植生と調和した緑化に配慮 しているか。		適・否	
取組の中で特筆すべ き点		(良好な景観形成のために特に取り組まれた事項がある場合は記入ください。)				
開発行 為許可 との協 議	協議相手		協議日時	平成 年 月 日	協議方法	口頭・文書
	協議内容					

- 1) 記載に当っては、項目欄の※印欄は記載不要です。
- 2) 項目欄の具体的な配慮又は工夫の内容について記載する場合、□印の内容については必ず記載して下さい。
- 3) 行為地において、市町村が景観の形成に関する基本方針等を定めている場合、その内容に適合するよう努める必要があります。